

省工ネ化へ一致団結

定時総会 梶原会長が再任

県設備設計事務所協会（梶原等会長）は、千葉市中央区で第12回定時社員総会と懇親会を17日に



梶原会長

森田代表

開いた。議事では、8月の納涼会や来年2月の賀詞交歓会など活動計画と予算案、梶原会長を再任



井桁会長

山尾課長

する役員改正の全3議案を原案通り可決。続く懇親会では、千葉市の幹部職員や業界関連団体の代表といった来賓・関係者らあわせて約80人が集い、

ついで梶原会長は、多数の参加者が集ってくれたことに謝意を示すと、昨今の設備設計業界を取り巻く人手不足や技術者の高齢化といった諸課題に言及。特に、学校などの各施設の老朽化に伴う設備改修に関する仕事量が業界に「大きいのしかかっ

てきている」とし、嬉しい反面で人手が不足する事務所においては厳しい状況に直面していると憂慮した。

その上で、建築物省エネ法関連業務における建築設備士の活用や、日本設備設計事務所協会連合会による設備設計事務所登録制度等への支援、将来の担い手不足確保のための国土交通省告示第8号（業務報酬基準）の普及・徹底などを盛り込んだ要望書を、先に千葉へ視察に訪れた斉藤国交省大臣へ提出したことに

触れるとともに、来年で50周年を迎える同協会としては、さらに結束を強化することで「新しい時代に向けて、活躍しているかなければならない」との決意を表明している。

また来賓あいさつでは、千葉市都市局建築部建築設備課の山尾芳雄課長と、県建築士事務所協会の井桁正昭会長、日本建築家協会関東甲信越支部千葉地域会（JIA千葉）の森田敬介代表が、それぞれ登壇。県設備設計事務所協会との連携を強化することで、業界のさらなる発展に向けて協調していることなど、各あいさつ者の脳で聞き入る梶原会長へ語りかけている。



古賀理事の発声により乾杯し、歓談へ移った

- ▽専務理事 津國和仁（津國建築設備設計事務所）
- ▽理事 高木俊夫（高木設備研究所）、飯塚順二（飯塚設計事務所）、古賀あけみ（都丸設計事務所）
- ▽監事 森田京二（ピーエル建築設備研究室）